

標準予防策

d.呼吸器衛生/咳エチケット

内容

1. 目的 |
2. 咳エチケットの方法 |



Ctrl

+

F

でワード検索ができます。

1. 目的

呼吸器衛生/咳エチケットは、咳やくしゃみの飛沫が、人にかからないよう配慮することで、周囲への伝播を防止する対策である。

呼吸器症状を有するすべての患者・面会者・学生・ボランティア・訪問業者に対し、以下の対策が実施されるよう働きかける。また、職員自身が呼吸器症状を有する場合も、自ら以下の対策を遵守する。

2. 咳エチケットの方法

患者・面会者等に感冒症状（咳嗽・鼻づまり・鼻汁等）があれば、申告するよう協力を依頼し、マスクの装着、手洗いの励行について説明する。また、咳エチケットが適切に行えるよう、各部門では速乾式手指消毒剤を使いやすい場所に設置する。

① マスクを正しく着用する(鼻と顎を覆う)

→推奨は不織布マスクとする。布マスクはエアロゾル粒子が40-50%漏れ出る可能性があるため。



② 咳、またはくしゃみをするときはティッシュペーパーで鼻と口を覆い、使用したティッシュペーパーはすぐに廃棄する。呼吸器分泌物で手指が汚染した場合は流水下の手洗いを行う。



③ とっさの時は袖や上着の内側で覆う

(袖や上着は通常、環境や他社に直接接触する頻度が低く二次感染の媒介となる確率を低減できる。ただし、手で覆った場合でも、流水手洗いをを行うことで病原体の拡散を防止できる。)



④ 周囲の人からなるべく離れる

